

CCIいみず

射水商工会議所報

2014

4
MONTH

人・物・金・情報が 循環する地域経済に向け 本格始動！



議員総会 (3月27日)

CONTENTS

■ 平成26年度 事業計画 ▶ 2p

基本方針
施策項目・事業内容
収支予算の概要
新規加入会員のご紹介

■ 先月の事業 Pickup ▶ 4p

射水市商工協議会役員会
伏木富山港港湾利用者意見交換会
ものづくり産業観光ツアー
部会・委員会・プロジェクト
主な今後の動き～イベント情報～

■ SERIES ▶ 5p

トレンド通信
「ターゲット」をずらして勝負できるか
考えてみる
社外人脈で会社を伸ばす方法
「すぐそこ」にある人脈を
広げるきっかけ

■ インフォメーション ▶ 6p

金融関係
高岡法人会からのお知らせ
検定試験のお知らせ
火災共済
経済産業省のお知らせ
中小企業様向け補助金・助成金のご案内
「領収証」等に係る
印紙税の非課税範囲の拡大
射水市からのお知らせ

■ キラリしんみなど ▶ 8p

株式会社 小菊製作所
代表取締役 小菊忠志 氏

「創造」により新しい時代を切り開く



新湊近未来構想の実現
部会の活性化

基本方針

日本経済は、安倍首相の提唱するアベノミクスにより将来の希望がもたらされ、海外経済の緩やかな持ち直しや円高修正もあり、デフレ脱却の絶好の機会を迎えています。デフレ脱却を確実なものとし、投資、そして雇用や賃金増等を通じ持続的な成長のための好循環が期待されます。しかしながら消費税増税の影響が不透明であり楽観視できない状況においては、これまでと同様に「創造」により新しい時代を切り開いて行かなければなりません。こうした状況の下で、平成26年度は次のような項目に重点を置き、地域商工業の振興と地域活性化のために、全力で努力してまいります。

はじめに、昨年新湊大橋（あいの風プロムナード）が完成し、来年には海王丸パークをメイン会場とした「全国豊かな海づくり大会」の開催、北陸新幹線の金沢までの開業がそれぞれ予定されています。このような好機に向け、地域経済の活性化を目的に、人、物、金、情報が循環する方策として策定した「新湊近未来構想」の実現を目指します。

次に、これまで活動が停滞していた部会の活性化を図るため、昨年、部会の再編を行いました。活動の軸を委員会から部会へと移し、会員の皆様が商工会議所活動に参加して頂き、交流の機会を増やすことで、現場の課題や要望を業種ごとに取りまとめ、中小企業の代弁者としての提言・要望を積極的に行ってまいります。

また、今年は仁川商工会議所と姉妹提携を締結して10周年の節目を迎えることから、記念式典を仁川で開催（開催時期未定）することが決定しております。更に国内交流として、千曲商工会議所との交流においても、行政や議会とも連携して、多方面における交流を拡大するとともに人と情報の流動化に資するよう取り組みます。

地域の中小・零細企業の経営支援については、個々の事業所にしっかりと寄り添い、きめ細やかな相談業務等により元気な地元企業を増やし、地域全体を元気にすることが商工会議所の重要な使命であり、会員や地域社会に信頼される地域の総合経済団体として、今後の諸活動に邁進してまいります。

3月27日（木）、本所で通常議員総会を開催し、平成26年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議を行い、原案のとおり承認されました。主な内容は右記のとおりです。

施策項目・事業内容

1. 中小企業の経営支援

- (1) 経営改善普及事業の推進
- (2) 経営向上支援事業の推進
- (3) ネットワークの強化

2. 地域活性への取り組み強化

- (1) 「新湊近未来構想」の実現化に向けた取り組みの推進
- (2) 食を核とした地域活性化支援事業の推進
- (3) 新湊大橋など地域資源を活かした射水ブランドの調査・研究
- (4) インターネットを活用した通信販売システムの調査・研究
- (5) がんばる商店街支援事業
- (6) 北陸新幹線プロモーション事業（富山県観光物産まつり）への参画
- (7) 新湊ものづくり産業観光バスツアー
- (8) 各種地域イベントへの協力・支援
- (9) 地域力（地域資源）を活用した地域商業の活性化策の調査・研究

3. 魅力あるまちづくりに向けた施策の調査・研究

- (1) 富山新港の港湾機能の充実と利用促進に関する調査・研究

4. 交流観光の推進

- (1) 姉妹・友好商工会議所との交流並びに交流観光の推進

5. 提言・要望活動の推進

- (1) 行政・各種関係機関等との連携強化と提言・要望活動の推進

6. 会員サービスの推進

7. 運営基盤・事業活動の強化

- (1) 商工会議所活動の組織強化と活性化に向けた取り組み
- (2) 委員会活動の推進
- (3) 商工会議所青年部・女性会の育成と活動支援
- (4) 役員・議員の先進地視察研修会の実施
- (5) 商工会議所検定試験（珠算・簿記）の実施
- (6) 職員の資質・能力向上の推進

収支予算の概要（収支予算総額：1億2,121万円）

<収入の部>

| 科目 | 単位：千円 | | | |
|------|--------|--------|--------|---------|
| | 一般会計 | 相談所会計 | 共済会計 | 合計 |
| 会費収入 | 22,702 | 0 | 0 | 22,702 |
| 事業収入 | 7,150 | 851 | 19,431 | 27,432 |
| 交付金 | 5,206 | 34,678 | 0 | 39,884 |
| 雑収入 | 700 | 1 | 200 | 901 |
| 取崩金 | 1,302 | 0 | 0 | 1,302 |
| 繰入金 | 0 | 1,100 | 1,300 | 2,400 |
| 繰越金 | 7,000 | 0 | 500 | 7,500 |
| 合計 | 44,060 | 36,630 | 21,431 | 102,121 |

*退職給与資金特別会計及び会計間の繰入（出）金を除く

<支出の部>

| 科目 | 単位：千円 | | | |
|-------|--------|--------|--------|---------|
| | 一般会計 | 相談所会計 | 共済会計 | 合計 |
| 事業費 | 24,150 | 2,851 | 2,300 | 29,301 |
| 人件費 | 6,510 | 30,720 | 9,872 | 47,102 |
| 管理費 | 6,151 | 901 | 8,650 | 15,702 |
| その他 | 6,749 | 158 | 109 | 7,016 |
| 退職給与金 | 500 | 2,000 | 500 | 3,000 |
| 合計 | 44,060 | 36,630 | 21,431 | 102,121 |

新規加入会員のご案内

新加入 会員

| No | 事業所名 | 代表者名 | 所在地 | 業種 |
|----|--------------------|-------|--------------|------------|
| 1 | セブンイレブン射水三ヶ店 | 魚 敬丈 | 射水市庄川本町 27-2 | コンビニエンスストア |
| 2 | 新湊南部事業振興会 | 北島 仁 | 〃 高木 280 | 商工振興会 |
| 3 | K - s t u d i o | 北村 秀史 | 〃 足洗新町 1-79 | 歯科技工士 |
| 4 | (株) わらびしい倶楽部 | 石灰 千鶴 | 〃 善光寺 22-20 | パソコン教室 |
| 5 | ノースパインマネジメント | 松井 武志 | 〃 久々湊 211 | 不動産賃貸業 |
| 6 | K O K I | 鳥本 幸一 | 〃 西新湊 25-29 | 内装業 |
| 7 | (株) いみずや本舗 | 松本 哲聡 | 〃 港町 1-3 | 製麺業 |
| 8 | 有 沢 製 作 所 | 有沢 弘 | 〃 津幡江 14 | 製造業 |
| 9 | (有) 甲谷造船エフ・アール・ビ | 甲谷 英敏 | 〃 中新湊 22-19 | 製造業 |
| 10 | リラクゼーションサロン Sentir | 桧物真里子 | 〃 八幡町 2-14-1 | エステ業 |
| 11 | バンドウ建築 | 坂東 琢磨 | 〃 片口 782 | 木造建築工事業 |
| 12 | クリクラ射水 | 小杉香代子 | 〃 八幡町 3-9-6 | 水小売業 |
| 13 | ライフラインシステム合同会社 | 齊藤 光博 | 〃 片口高場 84-19 | 配管設備工事業 |
| 14 | カジヒロ | 加治 宏規 | 〃 桜町 2-18 | 小売業 |
| 15 | ゼッピーズカフェ | 佐藤 崇 | 〃 松木 743 | 飲食店 |
| 16 | 中山仏壇店 | 中山 光治 | 〃 港町 16-20 | 仏壇製造販売 |

特別 会員

| No | 事業所名 | 代表者名 | 所在地 | 業種 |
|----|----------|-------|-------------|------|
| 1 | 五歩一工業(株) | 五歩一庄亮 | 高岡市あわら町 2-3 | 建設業 |
| 2 | クリスミ音楽教室 | 諸見里安弘 | 〃 中曾根 2112 | 音楽教室 |

3/6

射水市商工協議会 さらなる連携強化を

本所と射水市商工会の代表者で構成される射水市商工協議会の役員会を市内で開催。本所からは正副会頭、米本専務理事、砂原事務局長が参加しました。射水市きりりカンパニー顕彰事業にTOYCAward(部門)を新設することや、ネット販売、委員会の設置など共同事業に関する今後の運営方法や考え方を話し合いました。

3/13

物流の活性化と 集荷体制の強化

国内外の港湾間競争が激しさを増す中、国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所との共催により意見交換会を本所で開催しました。牧田会頭、山本所長より挨拶の後、出席企業より港湾の利用状況、利用における課題や問題点についての意見要望がありました。引き続き、集荷の拡大、連携の強化など、さらなる港湾利用促進を働きかけていくことになりました。



3/25

ものづくり産業 観光ツアーを実施!

私たちが暮らすまち“いみず”の地場産業や文化等について理解を深めていただくことを目的に「ものづくり産業観光ツアー」を実施し、市内外から20名が参加しました。これまで個人では見学が難しかった三協立山(株)新湊工場の見学や新湊大橋あいの風プロムナード空中散歩、新湊漁港での昼セリ見学など、参加者からは、「新しい視点での新湊を満喫できた」と大満足の声が聞かれました。



部会・委員会 プロジェクト

【最近の活動】

- 3/7 事業関連部会
- 3/13 プロジェクト連絡会議
- 3/14 総務委員会
- 3/18~19 専門技術部会
「野上国土交通副大臣への陳情
『新庄川橋架替え』」(写真下)



主な今後の動き イベント情報

<会議所> 主な今後の動き

- 正副会頭会議
- 4/10(木) 部会長連絡会議
- 4/11(金) 東洋紡(株)富山事業所桜まつり
- 4/15(火) 国際拠点港湾伏木富山湾ポートセールス事業推進協議会
- 4/17(木) 本所女性会通常総会
- 4/20(日) 本所青年部通常総会
- 4/24(木) 富山ウラジオストック理事会通常総会・特別講演会
- 4/30(水) 本所青年部委員長連絡会議

トレンド通信

日経BPヒット総合研究所 上席研究員
渡辺 和博

『ターゲット』をずらして 勝負できるか考えてみる

よく通りがる東京都内のビジネス街に、新しい立ち食い蕎麦屋さんが開店していました。「そば290円」と大きく看板に出しているところを見ると、価格勝負の店なのでしょう。それを見ながら「ここも長続きせず閉店するだろうな」と感じました。その場所は立ち食い蕎麦の激戦区で、1つの交差点の100m以内に「梅もと」「小諸そば」「富士そば」「はなまるうどん」のチェーン店のほか、独立系で味を売り物にした店もあります。新規オープンのお店も前は別の独立系の立ち食い蕎麦店でした。これだけ同じような店があるということは、確かにそこに需要はあります。あとは競争に勝てるかどうかの問題なので、その店は価格を打ち出したと考えられます。

一人の立ち食い蕎麦ファンとして言えば、「安くてうまい店」はそのエリアではもう決まっています。これだけ成立しているということは、それ以外に営業時間の差やごはんものの充実度、てんぷらなどの総菜のバリエーションといったメニューの違いなどでそれぞれがファンをつかんでいるのです。もし私がその場所に新たに店を出すならば、「女性向け」に特化した立ち食い蕎麦店を出します。実感として、立ち食い蕎麦店や牛丼店など、従来は男性中心だったファストフードの店に女性客が増えています。これに対応して、牛丼チェーンではサイズの小さい牛丼やサラダなど、女性客を意識したメニューをメインのラインナップに加え始めています。ですから立

ち食い蕎麦店でも女性客向けの対応をすれば、新たな需要を他に先駆けてキャッチできるはず。このように、同じようなサービスを提供しながらターゲットをずらし、新たなビジネスチャンスをつかもうという例がいろいろ出始めています。特に顕著なのはシニア向けビジネスです。ボウリングやカラオケなどの総合レジャー施設であるラウンドワンは、シニア向けに朝5時から8時までの早朝割引サービスを導入しました。商店街にあるゲームセンターも平日の昼間にシニアの姿を見ることが増えました。ファミリーレストランも平日はシニアの日常の食事の場としてのメニューを拡充しています。既に持っているノウハウやリソースを利用しながら、ターゲットを変えるときに注意しなければならない点があります。当たり前なのですが、新しいお客さんが本当に望んでいることを調べ、それに合わせて提供する商品やサービスを変えることです。例えば、女性向けの立ち食い蕎麦屋さんをつくるなら「大盛無料」や「生卵サービス」は競争力にならず、むしろ逆効果です。安く適量でヘルシー、お店はきれいで座れるというのが必須条件になるでしょう。これまで取り組んできたビジネスを市場トレンドに合わせて見直すときに、「ターゲット」をずらして勝負できるか、という視点を入れてみてはいかがでしょうか。

社外人脈で 会社を伸ばす方法

株式会社セレブレイン代表取締役社長
高城 幸司

「すぐそこ」にある人脈を 広げるきっかけ

人脈とは、自分に対して良い影響を与えてくれる人とのつながりのことです。例えば、
・役立つアイデアを提供してくれる人たち
・新たな視点を与えてくれる人たち
あるいは刺激を与えてくれる人は「人脈リスト」に加えていいのではないのでしょうか? 当方であれば、先輩経営者としての確かなアドバイスをくれる流通業界のT社長や、教養を高める機会を提供してくれる大手生命保険のF役員と何人か思い浮かびます。この人脈リストは仕事に広がりをもたらしてくれる貴重な財産です。判断を求められたときや、新たな商売を考えるときなどに、頼りになる存在なのは間違いありません。故人脈リストは増やしていきたいもの。ところが人脈を広げようとしている経営者

は意外と少ないのが実情です。それはなぜか? 取材した金属加工業の社長は「普通に仕事をしていたら人脈を広げることは無理」と断言。銀行、取引先、従業員といったステークホルダー(利害関係者)との関わりにいっばいっばいで、人脈を広げる時間も手間もかける余裕がないと決めつけている様子です。でも、本当に人脈を広げるのは無理なのではないか? 可能性を探ってみました。当方は社長に
・日々のスケジュール表
・社長宛てに届くさまざまな会合の案内を見せていただきました。すると、人脈を広げる可能性を感じるきっかけが随所に見られました。例えば、業界団体からの懇

親会のお誘い、毎年のように参加している出身大学の集いなどです。「名刺交換する機会がたくさんあるじゃないですか?」と社長に指摘してみました。事実、1年で新たに交換した名刺(ステークホルダーを除く)は50枚以上ありました。ところが、誰一人に対してもコンタクトしていませんでした。その理由を尋ねてみると、「接点が無さそう」「意味ない気がする」と消極的な言葉がいくつも出てきます。この消極性が人脈を広げる可能性の芽を摘んでいるのに気付いていません。もったいない話です。人脈を広げるためには前向きな発想で人と向き合うことが重要。いつか良い影響を与えてくれるに違いないと考えて、これまでに交換した名刺を見返してください。すると「異業種の視点からアドバイスがもらえるかも」と可能性を感じる人が1人くらいはいるはず。まずは、ここから始めてみましょう。過去に交換したのに「つながり」が切れている名刺の点検。良い影響の可能性を感じる名刺を発見したら果敢にコンタクトを試みましょう。1つの新たなコンタクトの向こうには人脈を広げる可能性が潜んでいます。

金融関係

主な公的融資制度の利率

(平成26年4月1日現在)

| 資金名 | 利率(年) | |
|----------------------|--------|------------|
| 日本政策金融公庫 (国民生活事業) | マル経融資 | 1.60% |
| | 普通貸付 | 1.45~3.65% |
| 富山県 | 小口事業資金 | 2.00% |
| 射水市 | 中小企業資金 | 2.00% |

日本政策金融公庫
定例相談会

【相談会場】 射水商工会議所1階相談室

| アドバイザー等 | 開催日時 |
|--|-------------------------|
| 高岡支店国民生活事業 ■ 小口の事業資金融資 ■ 創業支援・地域活性化支援 ■ 国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資 | 4月15日(火) 13:00~15:00 |
| 富山支店中小企業事業 ■ 中小企業への長期事業資金の融資 ■ 国の中小企業政策に基づいた支援 | 5月22日(木) 13:00~15:00 |

◎ご利用の方は、相談所まで事前にご予約下さい。
TEL.84-5110

雇用管理研修会

日時 平成26年4月16日(水) 14:00~16:00

場所 高岡商工ビル 4F研修室

第一講座 講師 みやもと社会保険労務士事務所
社会保険労務士 宮本敦子氏
演題 「労務関係、社会保険関係の法改正について」

第二講座 講師 富山高齢・障害者雇用支援センター
高齢給付金担当者、窓口サービス業務担当者
演題 「高齢者雇用安定助成金の改正について」

入場料 無料(事前に電話にて申込みお願いします)

公益社団法人 高岡法人会

申込・問合せ先 TEL.23-8855 FAX.26-1216

射水市からのお知らせ

国の緊急雇用創出基金事業
「地域人づくり事業」の
企業提案を募集します!

雇用拡大プロセス

失業者の就業に必要な知識や技術を習得させ、人材育成や就業者を創出する事業です。

- ① 対象経費 人件費、研修費用、企業実習にかかる受入経費(既存社員の育成指導料など)
- ② 委託費限度額 月額25万円

処遇改善プロセス

生産性向上、販路拡大などにより企業の利益を上げ、既存従業員の処遇改善(賃上げ、正社員化)等に充てる事業です。

- ① 対象経費 生産性向上のための研修受講料や講師謝金・販路拡大のための催事出展料・業務効率化のためのコンサルタント料 など
- ② 委託費限度額 事業計画をもとに決定

- 事業期間 1年以内(平成27年度末まで)
- 募集締切 平成26年5月15日(木)まで
(予算がなくなり次第締切ります)
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、提出してください。事業の詳細及び応募用紙については、射水市ホームページ(<http://www.city.imizu.toyama.jp/>)をご確認ください。

- 提出先・お問合せ 射水市商工企業立地課
射水市本町2丁目10-30 新湊庁舎
TEL.82-1955/FAX.82-8207

地元消費で、
街を元気に
しよう!

楽しいお買い物は
地元の商店で

地域の皆様に、地元新湊の商品・生産品が愛用され、育てていただくことが、豊かな地域づくりの根源です。

検 定 試 験

第137回 日商簿記検定試験

試験日 平成26年6月8日(日)

場 所 射水商工会議所

申込期間 4月16日(水)~5月9日(金)

受験料 1級:7,710円 2級:4,630円
3級:2,570円 4級:1,640円

※平成26年度試験の受験料は、消費税率引き上げ相当分を反映した料金となります。

申込・問合せ先

射水商工会議所まで TEL.84-5110

本所ホームページからもお申込みできます!

HP 射水商工会議所 検索

充実保障で暮らしを守る 火災共済

普通火災共済

安い掛金で、火災・落雷・爆発・風雪災に備える商品です。経費削減に役立ちます。

総合火災共済

補償の範囲をさらに広げ、経営をより安定させる商品です。多様な事故から守ります。

新総合火災共済

評価共済を導入した住まいを守る商品です。多彩なプランから最適な補償を選べます。

<問合せ先>

富山県火災共済協同組合

TEL.076-492-1717 FAX.076-492-1017

経済産業省からのお知らせ

給与等支給額の増額を
実施・検討されている皆様へ
所得拡大促進税制

従業員の賃金増加を促進するための制度の要件を緩和します。

給与等支給額を増加させた場合、増加額の10%を法人税(※1)から税額控除する制度の要件(※2)を緩和します。

(※1)上限は法人税納付額の10%(中小企業は20%)までです。
(※2)給与等支給増加率の要件を5%から2%に変更します。
[平成25年度、平成26年度のうち平成26年4月1日以降に事業を終了する事業年度の場合]

中小企業様向け
補助金・助成金のご案内

平成25年度 補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の2次公募について

- 中小企業・小規模事業者の皆様向けに、国が認定する専門家などの助言機関(認定支援機関)と一緒に取り組んでいただきます。
- お近くの認定支援機関や御質問については、富山県地域事務局までお尋ねください。

1 事業概要

革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品開発・設備投資等を支援します。

2 公募期間

二次公募 平成26年5月14日(水)【当日消印有効】
※必ず郵送により富山県地域事務局あてに送付ください。

3 公募要領等・申請書受付先・お問合せ先

〔申請書提出先〕
〒930-0083
富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル別館8階
富山県中小企業団体中央会 富山県地域事務局
TEL.076-482-5738
〔問合せ先〕
富山県中小企業団体中央会 工業支援課
TEL 076-424-3686

公募要領等は、富山県地域事務局のホームページに掲載しています。

HP 富山県地域事務局 検索

「領収証」等に係る印紙税の
非課税範囲が拡大されました

(平成26年4月1日以降適用)

「所得税法等の一部を改正する法律」により、印紙税法の一部が改正され、平成26年4月1日以降に作成される「金銭又は有価証券の受取書」に係る印紙税の非課税範囲が拡大されました。

改正前 受取金額 3万円未満 → 改正後 受取金額 5万円未満は非課税
領収証に印紙不要

第24回は、(株)小菊製作所です。主に業務用アルミ食器の製造販売を手がける同社は、2年前に新事業として家庭用の土鍋製造に着手。製造する「IH土鍋プロヴァンス(以下、プロヴァンス)」はその斬新なデザイン性と機能が評され、2013年に「GOOD DESIGN AWARD 2013」を受賞されています。「IH土鍋プロヴァンス」が生まれた経緯や、同社のものづくりスピリッツを探るべく、代表取締役社長 小菊忠志氏にお話を伺いました。

他にないものを作りたい オンリーワンを目指して



社長
小菊 忠志 氏

「プロヴァンス」が誕生した経緯は？

創業からずっとアルミ食器の製造に携わってきた中で、自分たちが持つ「鑄造の技術」や「窯元とのネットワーク」などを活かして何かできないか、と考え始めたのがきっかけ。酒飲みであり、土鍋料理が好きだったことから、土鍋を自社で作ることができないか、県の専門家派遣制度を活用し、デザイナーのA-PLUS 相川繁隆氏を紹介していただいた。家庭に一個はある土鍋を、もっと女性向きで、未来性のあるデザインにした。相川氏を始め、県の担当者や、販売を引き受けてくださったネットショップ「百選横丁」を運営する北電産業(株)の方など、たくさんの方にご協力いただき完成・販売までに至った。

「プロヴァンス」はどんな商品ですか？

国内では初めてSGマーク(安全保障の適合基準)を取得した土鍋。従来のIH対応の土鍋には、鍋底や内面底に誘導加熱対応の金属が貼り付けられていたり、ステンレスやカーボンなどがはめ込まれている。プロヴァンスは土鍋底面内部にIH対応の特殊な処理を施してあるので底面がすっきりとした形をしており、金属プレートを敷く必要がない。その他、雫の垂れにくい蓋や、どの方向からも持てる360度持ち手、デザイン性など、“他にはない土鍋”。



今後の展望

今後は、プロヴァンスのデザイン性を残したまま、サイズのバリエーション展開を行い、さらなる販路拡大を目指したい。各種支援制度や補助金制度にもアンテナをはり、活用していきたい。

インタビューを終えて

2年前にプロヴァンスの製造に携わってから、自分たちの持っている技術や商品に、こんな良い所があったのかと気付かされるが多かったという小菊社長。「ものづくりをやるからには、良い物を作りたいし、他にないものを作りたい」と話す小菊社長

のモットーを伺うと、「決断と夢」という答えが返ってきました。本所を含む各種支援機関は、中小企業の方々が抱く“夢”を一步でも実現に近づけ、日々迫られる“決断”の際の心の支えとなるような支援を行っていかねばならないと改めて思いました。

社 名：(株)小菊製作所
代 表 者：代表取締役 小菊 忠志
住 所：射水市松木44
設 立：平成元年4月
資 本 金：1,000万円
事業内容：アルミ食器製造販売
業務用アルミ食器
IHアルミ食器
鉄製陶板の販売 他

「IH土鍋プロヴァンス」は
以下のお店からお買い求めいただけます
■ (株)小菊製作所
TEL0766-84-1836
■ 大和富山店5F(キッチン用品売り場)
TEL076-424-1111
■ ネットショップ百選横丁
<http://www.hyakuyoko.com/>

掲載企業募集しています。射水商工会議所 TEL.84-5110 (土田まで)